



# 播磨屋の教えを守る

## ～歌舞伎役者・中村歌昇への期待～

**播磨屋の役者、中村歌昇。**

父・又五郎はもちろん、吉右衛門の芸を弟・種之助とともに次の世代へ伝えてゆく責務。その重圧をはねのける気概と夢を葛西聖司と語り合う！

令和4年2月23日(水・祝)

13:30～15:30 (受付は13時開始)

可児市文化創造センター 小劇場

【チケット】

令和4年1月22日(土) 9:00 発売

★電話予約は翌23日(日) 9:00～

全席指定 1,000円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※感染症拡大防止のため、客席を間引いて販売します

### チケット取り扱い

可児市文化創造センター・インフォメーション

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139

(9時から19時まで / 火曜休)

◆電話予約・・・0574-60-3050

◆インターネット予約 <https://kpac.or.jp>

【主催】(公財)可児市文化芸術振興財団 【協力】可児歌舞伎

【お問合せ】可児市文化創造センター 0574-60-3311



1989年生まれ。三代目中村又五郎の長男。屋号は播磨屋。1994年歌舞伎座『道行旅路の嫁入』で四代目中村種太郎を名のり初舞台。2011年新橋演舞場『舌出三番叟』の千歳ほかで四代目中村歌昇を襲名。2015年浅草公会堂『一條大蔵譚』奥殿の一條大蔵長成ほかで名題昇進。同年より弟の種之助と共に勉強会「双蝶会」を開催。「傾城反魂香」又平、「積恋雪関扉」関兵衛などに挑戦し研鑽を重ねる。2019年9月には長男の小川綜真が初お目見えした。

提供 松竹(株)



ゲスト

なかむらかしろう  
**中村歌昇**

講師

葛西聖司  
かさいせいじ



東京都生まれ。NHKアナウンサーとしてテレビ、ラジオのさまざまな番組を担当してきた。現在はその経験を生かし、歌舞伎など古典芸能の解説や講演、セミナーなどを全国で展開。執筆活動も続けている。早稲田大学公開講座、NHK文化センター、朝日カルチャーセンター講師、日本演劇協会会員(評論)

【著書】

「僕らの歌舞伎」(淡交社)

「文楽のツボ」(NHK出版)

「名セリフの力」(展望社)

「ことばの切っ先」(展望社)

「教養として学んでおきたい歌舞伎」(マイナビ新書) ほか

### 本講座は新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、開催します

- 館内の空調システムは法令の基準を満たした十分な換気性能があり、常時換気を行っています。

急な体調不良でも安心のチケットキャンセルサービスがご利用いただけます。咳や発熱など風邪症状が出ている場合は、ご来場をお控えいただき、講座開始時間までに可児市文化創造センター・インフォメーションにご連絡ください。チケット金額の100%をアーククーポンでお返しします。

- 館内では、マスクの着用をお願いします。
- 受付時に検温を行います。発熱があった場合、入場をお断りする場合がございます。
- 当日の混雑防止のため、チケットの事前発券にご協力ください。
- 厚生労働省による接触確認アプリ(COCONA)のご利用をお願いします。
- ご来場にあたり、アークWEBサイトの「新型コロナウイルス感染症への対応とご協力のお願い」をご覧ください。⇒<https://kpac.or.jp/>



アークWEBサイト

